

2026年度 玉川大学教職大学院教育学研究科教職専攻  
専門職学位課程（I期）入学試験問題

科目名	教育小論文	受験番号		氏名	
-----	-------	------	--	----	--

## 【1】

現代社会は急速に変化しており、生涯にわたって学び続ける力、つまり自律的な学習者となることの重要性が高まっています。そこでは学びの自己調整が注目されています。自己調整とは「見通す（計画）、実行する、振り返る」のサイクルを回しながら学ぶことです。授業において「見通す（計画）、実行する、振り返る」には、どのような意義があるのかを論じてください。また、校種や教科、単元等を想定し、具体的な活動例を説明してください。

## 【2】

2024年10月の「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」（以下「概要」と記す。）によれば、「小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は732,568件（前年度681,948件）であり、前年度から50,620件（7.4%）増加。児童生徒1,000人当たりの認知件数は57.9件（前年度53.3件）」と過去最多になったことが報告されています。さらに、この「概要」では、いじめの認知件数が増加した背景の一つとして「SNS等のネット上のいじめの積極的な認知が進んだこと」があげられています。

それでは「SNS等のネット上のいじめ」をより効果的に認知するために、教師や学校はどのような取組を進めるべきか。あなたの考えを述べなさい。

2026年度 玉川大学教職大学院教育学研究科教職専攻  
専門職学位課程（Ⅱ期）入学試験問題

科目名	教育小論文	受験番号		氏名	
-----	-------	------	--	----	--

## 【1】

GIGA スクール構想は、1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校 ICT 環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的としています。GIGA スクールにおけるクラウドを活用した「協働的な学び」とは、どのような活動が考えられますか。校種や教科、単元等を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

## 【2】

2022年12月に改訂された『生徒指導提要』には、「生徒指導の実践上の視点」が4つ示されています。この内の一つとなる「自己決定の場の提供」については、さらに、「児童生徒に意見発表の場を提供したり、児童生徒間の対話や議論の機会を設けたり、児童生徒が協力して調べ学習をする、実験する、発表する、作品を作る、演じるなどの取組を積極的に進めたりして、児童生徒の学びを促進する」ことの重要性も指摘されています。

このような「児童生徒の学びを促進する」実践を行う上で、教師はどのようなことに留意すべきか。あなたの考えを述べなさい。

2026年度 玉川大学教職大学院教育学研究科教職専攻  
 専門職学位課程(Ⅲ期)入学試験問題

科目名	教育小論文	受験番号		氏名	
-----	-------	------	--	----	--

【1】

総合的な学習(探究)の時間の探究の過程は、主に「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」の4つのステップを螺旋状に繰り返し、学びを深めます。この探究の過程は教科学習でも必要とされています。授業においてどのような活動が考えられますか。校種や教科、単元等を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【2】

2024年12月、中央教育審議会に「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が諮問されました。ここでは、学習指導要領の改訂へ向けた議論として、4つの論点について検討することが示されています。この内の一つである「質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方」では、「学習評価を児童生徒の学習や教師の授業の改善に役立てるためには、観点や頻度等をどう改善したらよいか」という具体的な検討課題があげられています。

この検討課題について、あなたの考えを述べなさい。